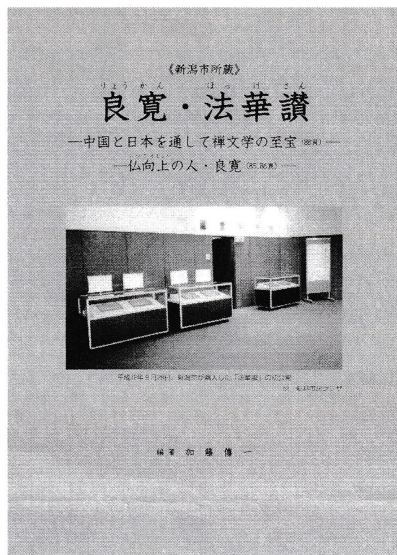


## 新潟市蔵 良寛・法華讃



良寛が法華経を学んで102首の漢詩を作った中国にも日本にも例のない最高の禅文学。筆者によって原本の写真版が初めて刊行され、これまで数種が混雑していた原文が統一された。東洋大学々長竹村牧男先生著『良寛法華讃評釈』により「加藤本」と命名された。

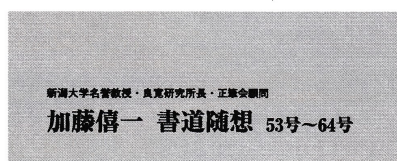
本著は原本の精巧な写真版に読みと口語訳、解説を付した「法華讃」の決定版。新潟県民必読の1冊。

新潟日報事業社・良寛研究所刊

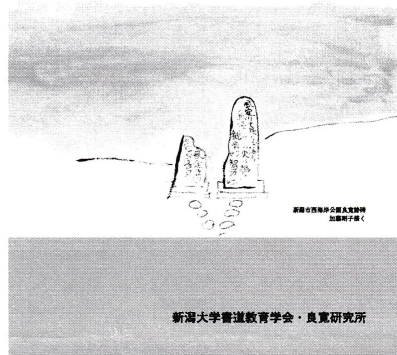
特価1千円 送料500円

新潟大学名誉教授・良寛研究所長・正筆会顧問

## 加藤僖一・書道随想 53号～64号



「加藤僖一の八十年」以後にまとめた随想集。次回は90才の時と予定していたが、80才以後体調が思わしくなく、予定を早めて刊行した。124冊めの著書であるとともに、生前最後となる1冊。



書道随想 53号～64号

忘れ得ぬ人々

佐藤吉太郎、吉野秀雄、梅原猛、柳田聖山、小原国芳、上田三四二、鎌倉芳太郎、水上勉、瀬戸内寂聴

井島勉、西谷卯木、竹内臨川（以上順不同、敬称略）

ほかに新潟日報文化賞受賞、「良寛こころのうた3巻」の編集、新潟大学定年退職、全著作を県立図書館へ寄贈（良寛の書全5巻10冊、良寛法華讃、良寛百人一首ほか）、表紙の絵と小妻のこと、良寛ブームと良寛テレビ講座、県知事より感謝状受贈、良寛の書を県立近代美術館へ寄贈、良寛研究所の将来、アララギ越后人、等。（令和4.7.27「新潟日報」文化欄に大きく報道される）

新潟大学書道教育学会・良寛研究所刊

限定300部

頒価1,500円

送料250円

申込先

良寛研究所 〒951-8102 新潟市中央区二葉町1-5214-23

電話・FAX 025-225-4522番

郵便振替

00660-1-6439番